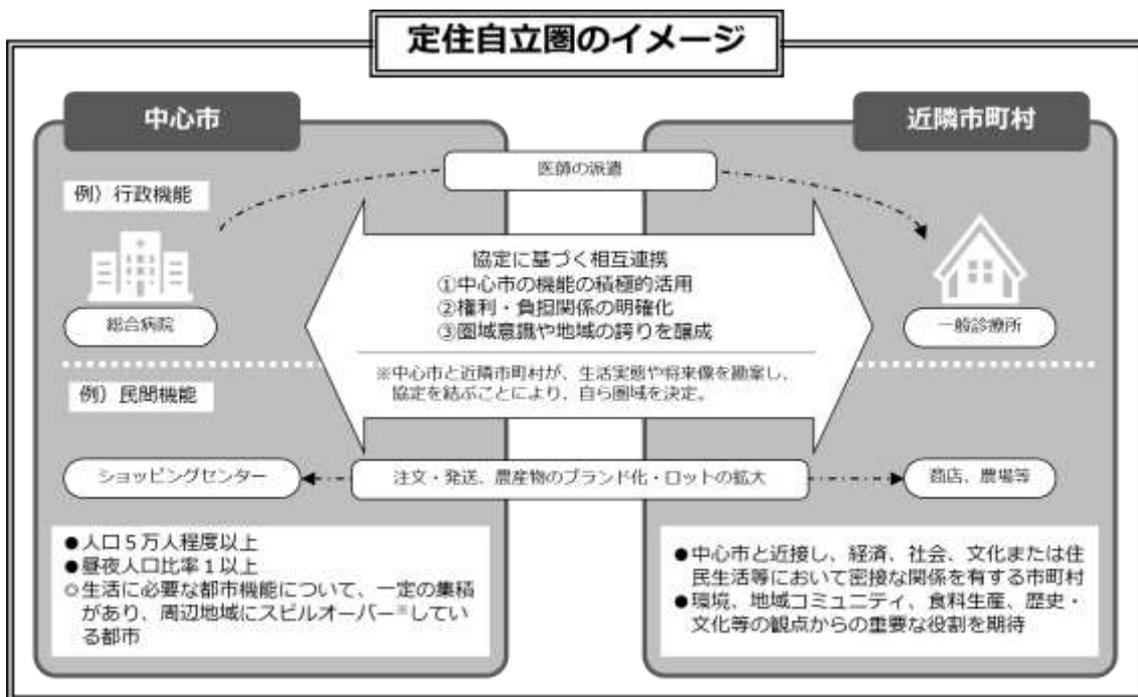


定住自立圏構想について

【 定住自立圏構想とは 】

地方圏において、安心して暮らせる地域を各地域に形成し、地方圏から三大都市圏への人口流出を食い止めるとともに、三大都市圏の住民にもそれぞれのライフステージやライフスタイルに応じた居住の選択肢を提供することで、地方圏への人口定住を促進する政策です。

中心市と近隣市町村は、都市機能、農林水産業、自然環境、歴史、文化などのそれぞれの魅力を生かし、NPOや企業といった民間の担い手を含め、相互に役割分担して連携・協力することにより、地域住民のいのちと暮らしを守るための圏域全体で必要な生活機能の確保を目指します。



※スピルオーバー：公共サービスの便益が、給付を行なった公共体の行政区域を超えて拡散し、費用負担をしていない周辺の公共体もその便益を享受する現象。

中心市は、生活機能確保の役割を担う民間や地域の関係者、圏域住民で構成する「圏域共生ビジョン懇談会」での検討を経て、協定締結した他の市町村との協議の上、「定住自立圏共生ビジョン」を策定し、圏域の将来像や具体的な取組内容及びその成果を決めます。

この共生ビジョンに基づき、中心市及び近隣市町村は、協力・連携して、具体的な取組を展開していきます。